

2025年度		スポーツ科学部スポーツ科学科 新カリキュラム (2023年度以降入学生対象)						カリキュラムマップ					
ディプロマポリシー		DP1 (実践的な知識・技能)				DP1 (創造力と行動力)							
		①スポーツ科学の学際的知識をもとに幅広い教養を修得し、社会を複眼的に捉えることができる (把握する力)。				②スポーツの文化的価値の理解と言語スキルの習得を基盤とし、情報通信技術(ICT)等を活用しながら様々な事象に対して論理的・批判的・創造的に思考し、判断することができる (考え抜く力)。		③スポーツの社会的意義を学んで多様な価値観を受容し、他者を尊重して協働する態度を身に付け、高い倫理観を備えることができる (協調する力)。		④実体験を通じて獲得したスポーツの実践力を活かし、主体的に自身の成長と社会の持続的発展に寄与しようすることができる (挑戦する力)。		⑤スポーツ科学を通じて得た知見を国内外に発信し、あらゆるフィールドにおける課題の解決に活かすことができる (行動する力)。	
科目区分		学部専攻科目											
科目		スポーツ基礎科目				スポーツ探究科目			キャリア形成科目				
科目群		基礎演習系	人文・社会科学系	自然科学系	実技実習系	探究演習系	競技スポーツ系	生涯スポーツ系	領域横断演習系	競技スポーツ演習系	生涯スポーツ演習系	保健体育指導系	キャリアアップ系
4 年次						* スポーツ専門演習Ⅲ * スポーツ専門演習Ⅳ							保健体育特別演習Ⅱ
3 年次 または 3 年次以上						* スポーツ専門演習Ⅰ * スポーツ専門演習Ⅱ			スポーツ科学社会実装演習Ⅰ スポーツ科学社会実装演習Ⅱ			体育科内容・指導論(体育理論) 体育科内容・指導論(体育実技)	保健体育特別演習Ⅰ トレーニング指導実習 コーチング実習(水泳)Ⅰ コーチング実習(水泳)Ⅱ コーチング実習(ホッケー)Ⅰ コーチング実習(ホッケー)Ⅱ コーチング実習(サッカー)Ⅰ コーチング実習(サッカー)Ⅱ スポーツ指導実践
2 年次 または 2 年次以上		【2024年度以降入学生対象】 * スポーツキャリア演習Ⅲ * スポーツキャリア演習Ⅳ 【2023年度入学生対象】 * スポーツキャリア演習Ⅱ			< a 科目群 > 実技実習 a (トレーニング/体づくり運動) 実技実習 a (水泳・水中運動) 実技実習 a (スケート) < b 科目群 > 実技実習 b (ホッケー) 実技実習 b (テニス) < c 科目群 > 実技実習 c (柔道) 実技実習 c (空手道)	競技スポーツコーチング・トレーニング論 競技スポーツマネジメント論 競技スポーツ心理論 競技スポーツ戦術・戦術論 臨床スポーツ理論 競技スポーツ体力論 障がい者競技スポーツ論 競技スポーツ栄養論	スポーツ文化論 スポーツプロモーション論 スポーツマネジメント論(スポーツマーケティングを含む) スポーツビジネス論 地域スポーツ論 スポーツメディア論 子どもスポーツ論 健康体力論 成人スポーツ論 運動処方論 高齢者スポーツ論(要介護者を含む) 障がい者スポーツ論		競技スポーツ演習(コーチング・トレーニング) 競技スポーツ演習(体力) 競技スポーツ演習(バイオメカニクス) 競技スポーツ演習(ゲーム分析) 競技スポーツ演習(個人心理) 競技スポーツ演習(集団心理) 競技スポーツ演習(傷害) 競技スポーツ演習(組織マネジメント)	生涯スポーツ演習(スポーツプロモーション) 生涯スポーツ演習(スポーツマネジメント) 生涯スポーツ演習(地域スポーツ) 生涯スポーツ演習(スポーツメディア論) 生涯スポーツ演習(野外活動・教育) 生涯スポーツ演習(子どものスポーツ活動) 生涯スポーツ演習(高齢者・要介護者のスポーツ活動) 生涯スポーツ演習(障がい者スポーツ)	保健体育科教育法(体育) 保健体育科指導論 保健体育科教育法(保健) 衛生学(公衆衛生学を含む) * 令和5年度中小規模、特待奨励、中・短大学及び教員養成系を含む	健康運動指導等研修(事前事後指導を含む) 健康運動特別演習	
1 年次 または 1 年次以上		【2024年度以降入学生対象】 * スポーツキャリア演習Ⅰ * スポーツキャリア演習Ⅱ 【2023年度入学生対象】 * スポーツキャリア演習Ⅰ	スポーツ史 スポーツ経営学 スポーツ哲学(体育原理を含む) 野外活動・教育論 コーチング論(運動学、運動方法学を含む) スポーツ社会学 スポーツ心理学 スポーツ教育論 スポーツ政策論	機能解剖学 トレーニング論 スポーツ健康科学論 スポーツ生理学 スポーツ栄養学 スポーツ医学 スポーツバイオメカニクス スポーツ備前論	< a 科目群 > 実技実習 a (陸上競技) 実技実習 a (器械運動) 実技実習 a (ダンス) < b 科目群 > 体力論 実技実習 b (バスケットボール) 実技実習 b (バレーボール) 実技実習 b (サッカー) 実技実習 b (ソフトボール) < d 科目群 > 実技実習 d (野外活動：キャンプ) 実技実習 d (野外活動：富士登山) 実技実習 d (野外活動：水辺) 実技実習 d (野外活動：スキー)								
必修要件		90 単位											
カリキュラム ポリシー		教育内容 1 学部専攻科目においては、スポーツ科学と隣接領域に関する実践的な知識・技能の活用力を学ぶ。また、実技・演習系科目では、各競技や各分野の実技・実践を通じて、創造力・行動力・指導力を身につける。 2 学部専攻科目以外においては、各科目群の履修を通じて、全学DP1に掲げられた能力を身につける。 教育方法 1 スポーツ科学と隣接領域の科目においては、講義によって知識・技能を伝授するだけでなく、知識・技能の活用力を育成するためにアクティブラーニング手法を用いた授業を実施する。 2 実技・演習系科目においては、各競技や各分野の実践を通じて、創造力・行動力・指導力を育成するために、実践型学習を実施する。 評価方法 1 スポーツ科学と隣接領域の科目においては、知識・技能の定着を測るだけでなく、知識・技能の活用力をパフォーマンスで評価する。 2 実技・演習系科目では、実行評価と指導の成果に対するパフォーマンス評価を行う。 3 各授業の評価基準はシラバスと授業ルーブリックによって定める。 4 卒業判定は、スポーツ科学部履修規程に定められた基準によって行う。											
アドミッション ポリシー		スポーツ科学で求める人物は、ルールやマナーを尊重し、「大学生活をとおして幅広い教養と豊かな人間性を身に付けたいと願っている人」、「スポーツを行うこと、見ること、支えること、教えることなどに興味・関心がある人」を前提とする。 (基礎的な知識・技能) 大学での学修で必要となる基礎的・基本的学力および運動能力を備えている人 (思考力・判断力・表現等の能力) スポーツや体育、健康に関わる今日の課題を多角的に捉え、判断し、表現することができる人 (主体性・多様性・協働性) 周囲と協調しながら、以下に示す課題を達成しようとする人 ① 授業やスポーツクラブの活動をととして、競技力や運動能力をさらに高めること。 ② 授業やスポーツクラブの活動をととして、スポーツ科学の知と技(指導能力、研究能力、科学的サポート能力、マネジメント能力など)を実践的に身に付けること。 ③ 大学生活で得た学修成果を、国内外のさまざまなスポーツ関連分野において活かすこと。											
備考		卒業要件や履修可能な科目については、入学年度により異なるため、入学年度の教育課程表もあわせて確認すること。											